

— 総括表 —

◆ 事業計画

□ 地域の現状と今後の方向性

豊田地区は、栄区の中で南西の位置にあり、戸塚区と鎌倉市、一部港南区と隣接しています。最寄りの駅は戸塚駅・本郷台駅・大船駅となりますが、多くの方がバスを利用することになります。高齢化率は平成31年3月末現在で29.1%（横浜市24.3%、栄区30.8%）ですが、最も低い長尾台町の20.9%から最も高い本郷台での41.2%と地区内でも差があり、課題もそれぞれ異なっています。最も高齢化率の高い本郷台では75歳以上の後期高齢化率も24.5%となっており、住民の約4人に1人が75歳以上となっています。

高齢化が進む中で、ケアプラザだけではなく、それぞれの地域で「歩いて行ける集まりの場」が必要となっているとともに、歩くのが難しい方の送迎という問題も大きくなりつつあります。

一方で要介護認定者数は横浜市平均に比べ少なく、介護度も低い傾向にあり、健康志向の高い地域であることが伺えます。介護予防に力を入れ、住み慣れた地域で、いつまでもその人らしい生活ができるように支援します。

また、高齢者のみでなく、子育て支援においても、母親の孤立防止のため地域の中での繋がりがつくりが必要であり、学齢期の子どもについても、放課後に気軽に集まることのできる場所が少ないという状況や孤食、貧困の課題が豊田エリアの中でも明らかになってきています。障害児者においては、地域の中でもまだ理解が少なく、地域の中で見守られながら地域の一員として生活できるよう理解・啓発が必要な状況です。

□ 今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
□	■	<地域福祉保健計画の推進支援> ・支え合い連絡会、小委員会を定期的に開催し、地区別計画の推進を行う。 ・各委員会と協働し、地域課題についての検討を行う。 ・住民主体で活動が推進されるよう、研修会、講座、視察等必要に応じた適切な支援について検討する。
□	■	<地域ケア会議の開催> ・個別ケースについての地域ケア会議を開催し地域課題を把握する。 ・個別ケースから把握した課題を包括レベルケア会議、協議体等に繋ぐための機会をつくる。 ・身近な場所で集える場、住民同士の支え合いの必要性等を地域住民と共有する機会をつくる。
□	■	<集まる場の支援> ・各サロンへの参加と介護予防の取組支援を行いサロン内での現状把握を行う。 ・外出困難事例を基にした地域ケア会議等を開催し地域住民と課題を共有する。 ・支え合い連絡会、小委員会、協議体等により具体的な検討を行う。
□	■	<民生委員や専門職との情報共有> ・各地域の民生委員の方々と、専門職との情報交換を行い、必要な情報を共有する機会を図る。 ・地域団体との専門職(ケアマネジャーを中心に)との情報を共有し連携する場を図る。
□	■	<認知症への取組> ・福祉教育の一環として小学生向けに認知症サポーター養成講座を実施したり、地域のキャラバン・メイトとともに、認知症の理解啓発に向けて取り組む。 ・「お茶べりサロン・クローバー」(介護者の集い)や、「ガーデニング部」では、認知症のある人ない人が一緒になって活動する場を作ることで、より自然な形で認知症への理解が進むように働きかける。

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

□ 区からのコメント

平成31年度豊田地域ケアプラザ事業計画書・事業報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	ケアプラザという公の立場を意識し、ホームページ等の資料を提示した上でサービス提供事業者を選択してもらうなど、特定の事業者や利用者への利益誘導等に陥らないよう公正中立を常に意識し、業務に努めます。	「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の保有する個人情報の保護に関する規程及び個人情報保護に関する方針」に基づき、全職員が統一した認識とルールによって個人情報の保護にあたるよう努めます。また、職員全員を対象にした個人情報保護に関する内部研修を実施し、意識啓発を図ります。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要支援1・2と認定された高齢者が日常生活において具体的な生活目標を持ちながら生活を送っていただけるように、利用者と家族との協働作業による介護予防プランの計画作成を行います。	利用者・家族の話をしっかり傾聴し、利用者のニーズや意向に基づいたケアマネジメントを行います。また、介護支援専門員のケアマネジメントの向上を図り、また抱えた課題を組織で解決し、解決のノウハウを蓄積します。 法令遵守し、安定した介護報酬を確保します。
職員体制	管理者・主任ケアマネジャー1名(常勤兼務)、保健師等1名(常勤兼務)、社会福祉士2名(常勤兼務)、予防プランナー3名(非常勤専任)	管理者・介護支援専門員1名(常勤専任) 介護支援専門員3名(非常勤専任)
利用者実績(人)	4月 5月 6月 7月 8月 9月	4月 5月 6月 7月 8月 9月
	10月 11月 12月 1月 2月 3月	10月 11月 12月 1月 2月 3月

3 通所系サービス事業

	通所介護 認知症対応型通所介護	第1号通所事業 介護予防認知症対応型通所介護
目標	介護保険で「要介護」と認定を受けた方に、日帰りで食事・入浴・機能訓練などのサービスを提供し、ご本人やご家族の日常生活を支援します。	介護保険で「要支援」と認定を受けた方に、日帰りで食事・入浴・機能訓練などのサービスを提供し、ご本人やご家族の日常生活を支援します。
実施体制	【実施日数】 年間360日(休日:12/29~1/3) 【提供時間】 10:15~15:20 【定員】 31名(通所介護・第1号通所介護合計)	【実施日数】 年間360日(休日:12/29~1/3) 【提供時間】 10:15~15:20 【定員】 31名(通所介護・第1号通所介護合計)
実費負担	○1割負担分(ご利用1回につき) (要介護1)599円、(要介護2)708円、(要介護3)816円、(要介護4)926円、(要介護5)1,034円 食費負担 750円(食事キャンセル料500円) 各種加算 サービス提供体制強化加算Ⅰイ 20円 入浴加算 54円	○1割負担分(月額) (要支援1)1,766円、(要支援2)3,621円 食費負担 750円(食事キャンセル料500円) 各種加算 体制強化加算Ⅰイ (要支援1)78円、(要支援2)155円 運動器機能向上加算 242円
職員体制	管理者1名(常勤)、生活相談員2名(常勤)、介護員14名(非常勤)、看護師(機能訓練指導員)3名(非常勤)、送迎運転員3名(非常勤)、調理員5名(業務委託)	管理者1名(常勤)、生活相談員2名(常勤)、介護員14名(非常勤)、看護師(機能訓練指導員)3名(非常勤)、送迎運転員3名(非常勤)、調理員5名(業務委託)
利用者実績(人)	4月 5月 6月 7月 8月 9月	4月 5月 6月 7月 8月 9月
	10月 11月 12月 1月 2月 3月	10月 11月 12月 1月 2月 3月

平成31年度「豊田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	
指定管理料	16,805,000		16,805,000		16,805,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
指定管理料充当 事業	0		0		0	
自主事業収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料			0		0	基本的に、この行は入力しません
駐車場利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
その他(指定管理料充当)	0		0		0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	2,782,500		2,782,500		2,782,500	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,617,669		1,617,669		1,617,669	
収入合計	21,205,169	0	21,205,169	0	21,205,169	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,313,000	0	11,313,000	0	11,313,000	
本俸	8,000,000		8,000,000	0	8,000,000	
社会保険料	800,000		800,000	0	800,000	
手当計	1,000,000		1,000,000	0	1,000,000	
健康診断費	20,000		20,000	0	20,000	
勤労者福祉共済掛金	15,000		15,000	0	15,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,478,000		1,478,000	0	1,478,000	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,358,000	0	1,358,000	0	1,358,000	
旅費	20,000		20,000	0	20,000	
消耗品費	350,000		350,000	0	350,000	
会議諸費	0		0	0	0	
印刷製本費	200,000		200,000	0	200,000	
通信費	200,000		200,000	0	200,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	0	100,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	100,000		100,000	0	100,000	
職員等研修費	10,000		10,000	0	10,000	
振込手数料	48,000		48,000	0	48,000	
リース料	250,000		250,000	0	250,000	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	80,000		80,000	0	80,000	
その他	0		0	0	0	
事業費	306,000	0	306,000	0	306,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算:指定額
指定管理料充当 事業	264,000		264,000	0	264,000	
管理費	7,450,000	0	7,450,000	0	7,450,000	
建築物・建築設備点検	300,000		300,000	0	300,000	
光熱水費	3,500,000	0	3,500,000	0	3,500,000	
電気料金	1,300,000		1,300,000	0	1,300,000	
ガス料金	1,000,000		1,000,000	0	1,000,000	
水道料金	1,200,000		1,200,000	0	1,200,000	
清掃費	1,436,000		1,436,000	0	1,436,000	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算:指定額
機械整備費	300,000		300,000	0	300,000	
設備保全費	1,440,000	0	1,440,000	0	1,440,000	
空調衛生設備保守	300,000		300,000	0	300,000	
消防設備保守	60,000		60,000	0	60,000	
電気設備保守	80,000		80,000	0	80,000	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	0	50,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	950,000		950,000	0	950,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	778,169	0	778,169	0	778,169	
事業所税	0		0	0	0	基本的に、この行は入力しません
消費税	778,169		778,169	0	778,169	
印紙税	0		0	0	0	基本的に、この行は入力しません
その他( )	0		0	0	0	基本的に、この行は入力しません
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	基本的に、この行は入力しません
本部分	0		0	0	0	基本的に、この行は入力しません
当該施設分	0		0	0	0	基本的に、この行は入力しません
二一ス対応費	0		0	0	0	基本的に、この行は入力しません
支出合計	21,205,169	0	21,205,169	0	21,205,169	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	264,000		264,000	0	264,000	自主事業への参加料等
自主事業費支出	264,000		264,000	0	264,000	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可収入	0		0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

## 平成31年度「豊田地域ケアプラザ」

## 収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	28,926,000		28,926,000		28,926,000	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,792,000		5,792,000		5,792,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
指定管理料充当事業（包括）	0		0		0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0		0	
自主事業収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	基本的に、この行は入力しません
駐車場利用料金収入	0		0		0	基本的に、この行は入力しません
その他（指定管理充当分）	0		0		0	
その他（提案時控除 法人負担分）	2,035,000		2,035,000		2,035,000	
収入合計	36,904,000	0	36,904,000	0	36,904,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	0	32,689,000	
本俸	23,904,000		23,904,000		23,904,000	
社会保険料	4,500,000		4,500,000		4,500,000	
手当計	2,700,000		2,700,000		2,700,000	
健康診断費	50,000		50,000		50,000	
勤労者福祉共済掛金	35,000		35,000		35,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
その他	0		0		0	
事務費	1,124,000	0	1,124,000	0	1,124,000	
旅費	100,000		100,000		100,000	
消耗品費	204,000		204,000		204,000	
会議ठीい費	0		0		0	
印刷製本費	200,000		200,000		200,000	
通信費	150,000		150,000		150,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	50,000		50,000		50,000	
図書購入費	20,000		20,000		20,000	
施設賠償責任保険	50,000		50,000		50,000	
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
振込手数料	50,000		50,000		50,000	
リース料	200,000		200,000		200,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	50,000		50,000		50,000	
その他	0		0		0	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	0	1,190,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
指定管理料充当 事業（包括）	100,000		100,000		100,000	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000		151,000	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000		309,000	予算：指定額
管理費	1,901,000	0	1,901,000	0	1,901,000	
建築物・建築設備点検	0		0		0	予算：指定額
光熱水費	900,000	0	900,000	0	900,000	
電気料金	300,000		300,000	0	300,000	
ガス料金	300,000		300,000	0	300,000	
水道料金	300,000		300,000	0	300,000	
清掃費	250,000		250,000		250,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
機械警備費	100,000		100,000		100,000	
設備保全費	525,000	0	525,000	0	525,000	
空調衛生設備保守	100,000		100,000		100,000	
消防設備保守	50,000		50,000		50,000	
電気設備保守	60,000		60,000		60,000	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000		50,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	265,000		265,000		265,000	
共益費	0		0		0	
その他	0		0		0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	基本的に、この行は入力しません。
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	36,904,000	0	36,904,000	0	36,904,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	264,000		264,000		264,000	自主事業への参加料等
自主事業費支出	264,000		264,000		264,000	自主事業経費
自主事業収支	0		0	0	0	

管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成31年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 豊田地域ケアプラザ

平成31年4月1日～平成32年3月31日

(単位: 千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入				12,230,000		12,230,000	23,305,000		23,305,000	77,402,000		77,402,000			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	101,000	0	101,000	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
		収入合計(A)	0	0	0	12,230,000	0	12,230,000	23,305,000	0	23,305,000	77,503,000	0	77,503,000	0	0
支出	人件費			0	4,065,000		4,065,000	16,605,000		16,605,000	50,258,000		50,258,000			0
	事務費			0	23,000		23,000	170,000		170,000	310,000		310,000			0
	事業費			0	50,000		50,000	1,224,000		1,224,000	22,111,000		22,111,000			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他			0	6,571,000	0	6,571,000	4,781,000	0	4,781,000	2,894,000	0	2,894,000	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	6,571,000		6,571,000			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	10,709,000	0	10,709,000	22,780,000	0	22,780,000	75,573,000	0	75,573,000	0	0	0
	収支 (A) - (B)	0	0	0	1,521,000	0	1,521,000	525,000	0	525,000	1,930,000	0	1,930,000	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

平成31年度 自主事業計画書・報告書

事業	1 地域活動交流事業	5 共催(1と3)
	2 地域包括支援センター運営事業	6 共催(2と3)
	3 生活支援体制整備事業	7 3事業共催(1と2と3)
	4 共催(1と2)	

  

事業の性質	1 優先的に取り組みが求められる事業
-------	--------------------

対象者	1 高齢者	5 地域
	2 障害児・者	6 事業者
	3 養育者及び乳幼児	7 その他
	4 子ども・青少年	

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
1	子育てティーサロン	H7	1 地域交流	3 乳幼児		1 優先的に取り	少子化や核家族化にともなう子育て環境の孤立化を解消するため、就園前の乳幼児と保護者を対象にサロン事業として、保護者同士、ボランティアとの情報交換をおこなう。			
2	親子のひろば ほっかほか	H23	1 地域交流	3 乳幼児		1 優先的に取り	地域内で気軽に親子で過ごせる場を提供。また、保護者、子同士の交流の機会となるように子育て支援の目的で開催する。			
3	ご近所茶話会	H7	5 共催(1と3)	1 高齢者		1 優先的に取り	参加者の仲間づくり、生きがいの支援、および参加者の安否確認をおこなう。	地域の高齢者を対象としたサロン事業で、健康維持のための体操、レクリエーションを行う。頭・手先を使ったレクリエーション、体を使ったレクリエーションなどを交互に取り入れ、楽しみを提供する。また、抹茶と和菓子を食しながら、おしゃべりの場を楽しむ。個人ボランティアが企画・運営にも関わっている。		
4	3Aプログラムの会	H25	6 共催(2と3)	1 高齢者		2 発展させるね	地域の介護予防と孤立予防を目的に開催。地域の仲間作りとしてグループ化も図る。自主的に運営できるように支援する。	認知症予防プログラムの実施。サポーターを中心とした企画検討会を会終了後行い、サポーターが自主的に活動できるよう支援する。		
5	AIAIAIの会	H28	6 共催(2と3)	1 高齢者		1 優先的に取り	認知症予防の普及啓発事業を身近な地域で参加してもらうこと、広げることを目的に町内会館で実施する。	認知症予防プログラムを実施する。		
6	豊田スクエア ステップ	H28	6 共催(2と3)	5 地域		1 優先的に取り	高齢者の転倒予防、介護予防、認知症予防の効果を推進する。	専用のマットを利用して、ステップパターンを覚えて、間違わないように前に進む足踏みエクササイズを実施する。身近な地域でも事業開催できるよう、リーダー、サポーター養成支援を行う。		
7	介護者のつどい 「お茶べりサロン・クローバー」	H10	6 共催(2と3)	1 高齢者		1 優先的に取り	介護者のリフレッシュと介護者同士の情報交換や仲間づくり、気持ちの共有を目的とし、リフレッシュできる場の提供。			
8	出前講座	H22	7 共催(1と2と3)	5 地域		1 優先的に取り	認知症、障がいへの理解のための啓発、介護予防の普及を目的とするを行う。	地域に出向き認知症や消費者被害防止に関する講座を行う		
9	若年性認知症 栄区の集い 笑風の会	H25	7 共催(1と2と3)	7 その他		1 優先的に取り	栄区内ケアプラザ6館が協力し、行政機構等との共同により若年性認知症の人とその家族を支え、自らの意思に基づいて地域福祉の向上に努めることを目的とする	若年性認知症の方と家族のつどいを栄区内6地域ケアプラザ及び関係機関と協力し、家族のつどいで、ご家族の悩み等話し合いをする場とご本人向けのレクリエーションを開催する。年3回開催。		
10	障がい児余暇支援 事業	H21	1 地域交流	2 障害者		1 優先的に取り	障がい児の余暇を支援する事業として豊田地域ケアプラザと笠間地域ケアプラザで共催。共催することで参加者や支援者の参加機会が広がり、地域の障害に対する理解と交流する機会を広めることが出来る。			

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
11	ガーデニング部	H30	6 共催 (2と3)	5 地域		1 優先的に取り				
12	ミニデイ・サロン連絡会	H18	7 共催 (1と2と3)	6 事業者		1 優先的に取り	豊田エリア内のミニデイ・サロン実施団体及び地区社協と、横の連携と情報共有を目的に実施。	年3回開催予定。各サロンにて実施できる運動、ゲームなどの紹介、認知症についての理解講座等を実施する。またサロン同士の情報交換の場を設定する。		
13	豊田スタイル		7 共催 (1と2と3)	5 地域		1 優先的に取り	ボランティア養成、元気な高齢者の介護予防、生きがい作りを目的に開催する	体操、脳トレなどの介護予防講座、ボランティア養成を目的としたスキル講座を行う		
14	豊田夏ボラ講座	H18	1 地域交流	4 子ども		1 優先的に取り	豊田地区在住在学の中학생・高校生・専門学校性・大学生を対象に、①自分の住む地域を知って活躍できる居場所を見つけるきっかけを作る②体験を通して地域のイベントやボランティア活動の実態を知ってもらう③ボランティアとして地域の活動やニーズに対応できる人材を発掘する④未来の地域の担い手として地域活動やボランティア活動の必要性を伝			
15	いきいきポイント登録研修会	H22	5 共催 (1と3)	1 高齢者		1 優先的に取り	介護施設等でボランティア活動を行うとポイントがたまり、換金、寄付することができるポイント制度を周知し、ボランティアを促進する。			
16	会場利用団体連絡会	H15	1 地域交流	5 地域		1 優先的に取り	豊田地域ケアプラザを利用し活動している団体を対象に、施設利用等の説明をおこなう。			
17	地域支え合い講座	H23	7 共催 (2と3と1)	5 地域		1 優先的に取り	安心した暮らせるまちづくりを推進するため、見守り体制作りを目的に開催する。	認知症の理解、障がい理解を啓発するために当事者に講演を講座を開催。		
18	権利擁護相談会	H28	2 包括	5 地域		1 取り優先的に				
19	権利擁護講座	H29	2 包括	5 地域		1 取り優先的に				
20	親を介護されている方向けの介護者の集い	H30	6 共催 (2と3)	7 その他		1 取り優先的に				
21	福祉教育	H23	7 共催 (1と2と3)	5 地域		1 取り優先的に	高齢者、障害者の理解を深めるとともにケアプラザについて地域へ広報する。	認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験、福祉施設との交流等、理解・啓発のためのプログラムを実施する。		